

NEW YAMAMOTO GAKUEN Voyage vol.78



Chromebookで何をしよう？



Topic #ICT #5G #ドローン #e-sports





学校ホームページ リニューアル

WEB SITE RE: NEWAL

毎月8000人を超える訪問者がいる「山本学園高等学校ホームページ」。

本校の生徒はもちろん、企業の関係者から他の高校の教職員、中学生や保護者のみなさんまで、幅広い方々に隠れた人気を持つホームページです。

そんな本校ホームページが2年ぶりにリニューアルオープンしました。定番の部活動ページもさらに充実

したほか、YAMAMOTO×ICTの新企画の告知や、夏の体験部活動「サマーチャレンジ」のお知らせ、秋のオープンスクール「オータムチャレンジ」の予告まで、たくさんの情報があふれるページとなっています。

後に掲載した「新制服」「100周年」の情報、入試出願時にプラスになる情報も掲載していきますので、ぜひぜひブックマークに登録をお願いします。

ホーム
ページへ
GO!



100周年記念の 新制服デザインを募集

100th
Anniversary

2021年、山本学園高等学校は創立100周年を迎えます。

100周年行事の大きな柱のひとつが「新制服」。2003年から採

用した現制服をにモデルチェンジします。これまでの男子・詰め襟と女子・セーラー服の組み合わせから、

次の20年を担う新しい制服に生まれ

変わります。

9月から10月にかけて開催される「チャレンジ」（オープンスクール）でも新制服デザイン企画を行い、広くデザインを募集していきます。

個性あるアイデアを形にした新制服デザインコンペ。あなたの挑戦をお待ちしています。



大型ドローン クリエイティブコースで 運用開始!

今後、Society 5.0

社会が訪れるとともに、様々な分野でICTのイノベーションが起き、新しいビジネスチャンスが生まれると言われています。

そんな中で、株式会社三和様より、山形の未来を担う人材を育ててほしいと大型ドローン2台の寄贈を受



けました。クリエイティブコースの授業でプログラミングとあわせて使用する予定です。ICTを用いた学びの幅がさらに広がります。

Chromebook X 入試 「みらいチャレンジα」

2019年度、山本学園高等学校ではタブレット「Chromebook」を全校で採用、授業やホームルームで毎日使用しています。

2020年1月には「Chromebook」を使用した新しい入試「みらいチャレンジα入試」を実施、受験生全員が新しい環境に見事に適応し、英語・数学・国語の3教科で実力を十分に発揮してくれました。



探究型学習に特化した特進コースの新たな取り組みにふさわしい新しい入試「みらいチャレンジα」。高い適応力を見せて合格を得た新入生たちのこれからの挑戦を、今から楽しみにしています。

あまりに修学旅行が楽しかったからいまだに少しぼけている。まず荷造りから楽しかった。昔から旅行の荷造り、特に買い出しが好きで手間のかからないプチ引越しをしているような気分になる。

おみやげを一つ一つ鞆から出すのも楽しかった。お菓子やお茶を出すときには味を、コスメを出すときは使い心地を、人に渡すものを出すときには反応を想像してときめいた。

唯一おみやげを買わなかったイベントが学校交流だ。だが月並みな言い方をすれば、思い出という名のおみやげは手に入れた。驚いたのが生徒の多様性で、どう見てもバキバキのギャルに見えるかわいいお兄さんや、めくるめく夜の街でアバンチュールに耽っているような見ための十八才のお姉さんがいた。どちらに対しても、日本であれば鳴き声のようにかわいいと連発していたに違いないのだが、「beautiful」という言葉の響きが恥ずかしくて、結局あまり褒めることができなかった。鼎泰豊でもあまりの美味しさに驚いた。小籠包の中に入っているスープを瓶に注ぎ、腰

国際交流 in Taiwan 「少しびびった台湾の夜」 特進コース3年 渡部 果南



に手を当てて飲み干したい気分になった。今回の旅行は驚きの連続だった。街の湿った匂い、あちこちで煌めくネオン、夜の街に微かに響く音楽。どれも慣れない存在だった。だが不思議と違和感はなく、しっくりと馴染んでいた。実を言うと街明かりの多さには少し恐怖を感じた。自分の想像範囲外にも確かに存在する暮らしたの体には言うならば少しびびったのだ。だが今はもうそんな弱々しい私ではない。この旅行で覗き見た広い世界を、おみやげと共に時々思い出そうと思う。

キミのチャレンジが未来を変える

YAMAMOTOみらいプロジェクト

10代の日常を探究に！
好きを学びへ！

探究

みらい

私がつくる
私のまなび

予測不能な変化が起きる時代を100歳まで生きるかもしれない、今の子どもたち。自ら人生を切り拓き、豊かに生きていくためには、生涯学び続ける「意欲」と変化の激しい時代を楽しむ、チャンスに変える「創造性」が必要です。

ヤマモトでは、様々な企業や学校とタッグを組み、対話と協働していくことで、世の中、そして自分の未来を創造させていきます。繊細で多感な思春期に、多様な人と出会い・語り、悩み・学ぶなかで、「意欲」と「創造性」を育んでいきます。

「好き」からはじまる新たな学びが、あなたの可能性を広げます。



「なぜ？」から始まるまなび！もっと広い視野を持って、自分たちの住む「社会」について考えていく必要があります。自分たちが自分が住む世界を面白くしよう。人は希望を持つと思考が始まり、思考が始まると学力が伸びます。

特進コースは繋がりを増やし、より深い学びへと発展させるためにマイプロジェクトアワードへの参加が目標です！

ドコモ5G
オープンパートナー
プログラム × みらい



教室が社会と つながる

未来(これから)の授業が変わります!!

教科書と黒板によるこれまでの学びから、企業や役所の方々とつながり、社会の声を聞く新たな学びへと変わります。生徒自身が主体となり、教室が世界から学ぶ空間となっていくきます。そこで得た知識をフィードバックさせていくことで、自分の可能性を伸ばし、自分自身を大きく広げていくこととなります。

幅広い人たちとの交流からまなびを深め、自分のみらいを変えていこう。学ぼう、ヤマモトで!

生徒に届ける 新たな可能性

2020年度のスタートは今までとは違うカタチで始まりました。しかし、ヤマモトではICTの力を使って、生徒の皆さんとつながり続けました。オンラインでの本格的な学習支援に挑戦し、学習活動の機会を少しでも多く作りあげていきます。

その名も「ICTスクールサポート」。学校に行けないときでも友人や先生と共に学びを続ける学校を作っています。



好きな時に 好きな所で 好きなだけ

今年プロ2年目のシーズンを迎える栗津凱士選手に、生徒からの質問を送ったところ、今年の抱負の言葉と、山形の中学生へのエールが届きました。

プロ野球選手になって1年。どのような感想をお持ちですか？

この1年、様々なことを経験させていただきました。小さい頃からの夢であったプロ野球選手になり、心の底から嬉しく思っております。野球選手は皆様に注目される職業でもあり、社会人としてより一層、自覚と責任を心がけるようになりました。小さなことかもしれませんが、プレー以上に大切にしていることです。

シーズン中の1日の大まかなスケジュールを教えてください。

シーズン中は1軍も2軍も毎日試合を行っており、選手は1日1日勝負をしています。その試合で反省点が出ると、試合後すぐに練習して改善させられるよう取り組んでいます。正直に話しますが、試合中のプ



レーや結果だけでなく、生活態度や礼儀、食生活でも周りの選手と争っています。1軍で活躍するため、今を必死になって生活しています。

高校時代の思い出は何ですか。

1番の思い出は山本学園野球部・創立以来初の「県優勝」をしたこと。高校ではチームのみんなと必死になって、勝つために練習していました。その目標が1つ叶い、とても嬉しかったです。

また、学校生活もいい思い出です。クラスメイトや同級生、先生方にとっても恵まれていたと思います。あときの何気ない日常が、今ではかけがえない思い出です。

「自分の壁」と

逃げずに向き合い

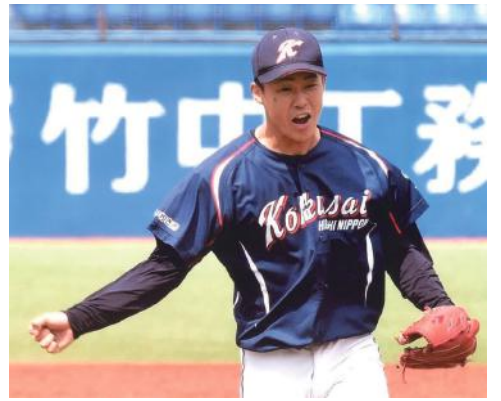
前進することで

夢を叶える。

西武ライオンズ 栗津凱士選手
(本校平成27年卒業)



栗津凱士
26



全日本大学選手権で完封勝利

一番印象に残っているのはいつ頃のどのような試合ですか。理由も教えてください。

一軍初登板をした、2019年6月13日の読売ジャイアンツとの試合です。納得のいくような結果ではありませんでしたが、あの試合でプロ野球のスタートラインに立てたと思います。自分を見つめ直すきっかけにもなった印象的な試合です。

体調管理等、気を付けていること、日々実践していることはありますか。

「まずは食事から」をモットーに、毎日の食事を自己管理しています。日頃

から野菜や果物を多く取るようにしているおかげで、1年間風邪をひくこともなく過ごすごうできました。

今年の目標を教えてください。

今年の目標は、一軍の試合により多く登板し、チームの信頼を得ることです。チームにはたくさんの方の投手がいますが、少ないチャンスの中で結果を残し、一軍に定着したいです。

そして将来は、西武ライオンズを代表するような投手になりたいと思っています。

最後にメッセージをお願いします。

皆さんには、ぜひ明確な目標を持って毎日を過ごしてほしいと思います。



高校2年の春、沖縄・宮古島キャンプより

ます。目標は人それぞれだと思いますが、目標に向かって過ごしていると、必ずどこかで「自分の壁」にぶつかります。その時、逃げずに向き合うことが大切です。繰り返し返して考えて、きつかけをつかみながら、壁を乗り越えたり、壁を壊したりして前進することで、大きな光が見えてきます。実際に自分も壁を越えることで大きな夢を叶えることができました。

現在、自分には次の新たな目標があります。この目標を達成できるように、一步一步しっかりと進んでいきます。

皆さん、ともに頑張ってください。

IT部《e-Sports》 ついに始動！

今、全国的に大きな盛り上がりを見せている「e-Sports」。2020年4月、山本学園高校は、IT先進校としてついに「e-Sports」を部活動として本格的にスタートさせました。

新部活動の名称は「IT部」。「e-Sports」からプログラミング、ドローンまで、ICTを使って新しい分野にチャレンジする部活です。早速2020年3月、新しい活動に向けゲーミングPC5台が到着し、ICTルームに並べられました。ゲームコンテンツも現在鋭意選定中。新型コロナの影響で対外試合ができないなか、オンラインでの練習試合を全国に打診中です。

山形市内ではじめて誕生した部活動としての「e-Sports」。結成初年度、どこまで戦えるか？今後の活動に注目してください。



Voyage
vol.
78



ASUS

